

平成30年度 大阪府立芦間高等学校 学校教育自己診断
アンケートの集計結果に対する見解

◎ 調査概要

- (1) 実施日 11月19日(月)～12月10日(月)
- (2) 実施方法 回答方式 マークシート方式
生徒 期間中のLHRの時間に一斉実施
保護者 期間中に生徒に持ち帰らせ、回答後生徒経由で回収
教員 職員会議において一斉実施
- (3) 回答数 生徒 1年230人(243人中)、2年217人(238人中)、3年217人(238人中)、
合計664人(719人中)(回収率92.4%)
保護者 1年199人(243人中)、2年161人(238人中)、3年193人(238人中)、
合計553人(719人中)(回収率76.9%)
教員 61人(63人中)(回収率96.8%)

◎ 集計結果に対する見解

各設問に対して「あてはまる」「ややあてはまる」「あまりあてはまらない」「あてはまらない」「わからない」の5つの選択肢から回答を選ぶ形式でアンケートを実施した。全体を通して「あてはまる」と「ややあてはまる」を合わせた評価(以下、「肯定率」という。)が、1・3年生に比べて2年生の肯定率が低い傾向にある。緊張感を持って高等学校に入学した1年生や進路決定を控えた3年生に比べて、2年生は中だるみと言えるのかもしれない。

		校長	平成30年度						
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的	否定的
生徒	25	校長先生の話は、分かりやすい。	1年	17.8%	40.4%	9.6%	5.2%	58.3%	14.8%
			2年	26.7%	28.6%	17.5%	6.0%	55.3%	23.5%
			3年	21.2%	41.9%	11.5%	10.6%	63.1%	22.1%
			全体	21.8%	37.0%	12.8%	7.2%	58.9%	20.0%

前年度から肯定率が10ポイント上がった。始業式、終業式での式辞について、学年ごとに身近な話題を例にとって話をしてきたことが理解されつつあるようである。しかし、決して満足できる値ではないので、今後も改善に努めていきたい。

教員	1	夏期閉庁日や一斉退庁日など芦間高校は働き方改革を意識した取り組みを実践している。	人数	16	28	10	2	44	12
			百分率	26.2%	45.9%	16.4%	3.3%	72.1%	19.7%

社会全体で働き方改革が求められる中、本校においても夏期閉庁日を8月中旬に1週間設け、また、昨年度より週1日極力超過勤務をしない全校一斉退庁日を設けた。部活動指導、進学講習など多忙な中、一定の成果として表れてきている。

		校長・教頭	平成30年度						
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的	否定的
生徒	1	芦間高校に入学して良かった。	1年	39.1%	33.9%	11.3%	6.1%	73.0%	17.4%
			2年	27.6%	41.9%	14.7%	5.5%	69.6%	20.3%
			3年	45.6%	34.1%	7.4%	7.4%	79.7%	14.7%
			全体	37.5%	36.6%	11.1%	6.3%	74.1%	17.5%
			保護者	1	子どもは芦間高校に入学して良かったと言っている。	1年	42.7%	39.7%	12.6%
2年	32.3%	44.1%				13.0%	3.7%	76.4%	16.8%
3年	49.7%	34.7%				7.3%	4.1%	84.5%	11.4%
全体	42.0%	39.4%				10.7%	3.0%	81.4%	13.8%
教員	2	生徒たちは芦間高校に入学して良かったと言っている。				人数	14	36	5
			百分率	23.0%	59.0%	8.2%	1.6%	82.0%	9.8%

概ね、「芦間高校に入学して良かった。」と感じているのは喜ばしいことであるが、5人に1人ほどの割合で、

そう思っていない生徒がいる。個々を尊重する総合学科においては、そう思わない生徒にも目を向けて、その原因を探り、きめ細かな対応を行っていく必要がある。

生徒	2	芦間高校の授業は、わかりやすい。	1年	3.9%	50.9%	27.4%	9.6%	54.8%	37.0%
			2年	7.4%	41.4%	30.2%	8.8%	48.8%	39.1%
			3年	7.4%	46.5%	30.4%	6.9%	53.9%	37.3%
			全体	6.2%	46.4%	29.3%	8.5%	52.6%	37.8%
保護者	2	芦間高校の授業はわかりやすいと言っている。	1年	7.0%	45.7%	27.6%	8.5%	52.8%	36.2%
			2年	5.0%	50.3%	24.2%	9.9%	55.3%	34.2%
			3年	11.4%	45.6%	19.2%	7.3%	57.0%	26.4%
			全体	7.9%	46.9%	24.0%	8.6%	54.7%	32.6%
教員	4	魅力ある授業になるよう、指導方法の工夫・改善を行っている。	人数	19	38	4	0	57	4
			百分率	31.1%	62.3%	6.6%	0.0%	93.4%	6.6%

生徒、保護者ともに肯定率が減少している。一方、教員は指導方法の工夫、改善は行っていると考えており、その差は大きい。「わかりやすい」かどうかについては、求める学習レベルにもよるが、進路実現に向けて高いレベルの学習内容をわかりやすく伝える工夫が、更に必要と考えられる。

生徒	4	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など、家庭等での学習時間が以前より増えた。	1年	30.0%	21.3%	21.3%	20.4%	51.3%	41.7%
			2年	14.7%	30.4%	32.7%	14.7%	45.2%	47.5%
			3年	21.7%	33.6%	21.2%	18.9%	55.3%	40.1%
			全体	22.3%	28.3%	25.0%	18.1%	50.6%	43.1%
保護者	4	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など家庭等での学習時間が以前より増えたようである。	1年	14.6%	28.1%	33.2%	21.6%	42.7%	54.8%
			2年	11.2%	23.0%	35.4%	24.2%	34.2%	59.6%
			3年	17.1%	27.5%	28.5%	19.2%	44.6%	47.7%
			全体	14.5%	26.3%	32.4%	21.5%	40.8%	53.8%
教員	5	授業の予習復習・宿題・小テストの勉強など、家庭等での学習時間が以前より増えるように指導して。	人数	10	31	11	4	41	15
			百分率	16.4%	50.8%	18.0%	6.6%	67.2%	24.6%

家庭学習については、増加したと感じている生徒は増えているが、逆に保護者については減少している。本校生徒の多くは、中学校の頃、学習塾に通っており、高校では通っていない分、客観的に見て学習量が少ないのではないかと考えられる。教員は課題を与え、授業中の小テストなどで家庭学習の成果を測っているが、十分ではないと考えている。家庭とも連携しながら、家庭学習を充実させていく必要がある。

保護者	10	家庭への連絡は、きめ細かく行われている。	1年	15.1%	47.7%	19.6%	7.0%	62.8%	26.6%
			2年	13.7%	35.4%	26.7%	14.3%	49.1%	41.0%
			3年	21.8%	37.8%	21.2%	7.3%	59.6%	28.5%
			全体	17.2%	40.6%	22.4%	9.1%	57.8%	31.5%
教員	11	家庭への連絡を、きめ細かく行っている。	人数	13	30	10	1	43	11
			百分率	21.3%	49.2%	16.4%	1.6%	70.5%	18.0%
保護者	11	芦間高校は、保護者の相談に応じてくれる。	1年	13.1%	35.2%	10.6%	2.0%	48.2%	12.6%
			2年	7.5%	37.3%	12.4%	5.0%	44.7%	17.4%
			3年	22.3%	34.2%	10.9%	3.6%	56.5%	14.5%
			全体	14.5%	35.4%	11.3%	3.6%	49.9%	14.8%

家庭連絡の肯定率はわずかではあるが増加している。あまり感じていない保護者も多いのは、特に連絡の必要がない生徒も多くいると考えられる。また、保護者の相談については、肯定率は高くは無いが、否定率も低く、やはり、この点についても特に必要性を感じない生徒も多いのではないかと考えられる。

生徒	14	先生は、生徒の意見をよく聞いてくれる。	1年	21.8%	31.4%	20.5%	12.7%	53.3%	33.2%
			2年	20.7%	35.0%	22.1%	6.5%	55.8%	28.6%
			3年	18.4%	48.4%	14.3%	10.1%	66.8%	24.4%
			全体	20.4%	38.2%	19.0%	9.8%	58.5%	28.8%
教員	15	教職員は、生徒の意見をよく聞いている。	人数	11	34	13	0	45	13
			百分率	18.0%	55.7%	21.3%	0.0%	73.8%	21.3%

学年を追うごとに肯定的な回答が増えているのは、将来のことについて話す機会が多くなるからではないだろうか。特に3年生は進路の相談も多いので生徒も意見を聞いてくれると感じているようではある。教員の感じ方と差があるのは、話をする生徒とそうでない生徒が極端に分かれるためではないかと考えられる。

生徒	16	国際理解、福祉ボランティア等について学習する機会がある。	1年	9.1%	34.3%	24.8%	9.1%	43.5%	33.9%
			2年	12.9%	32.7%	24.4%	8.3%	45.6%	32.7%
			3年	16.1%	39.6%	18.0%	11.1%	55.8%	29.0%
			全体	12.7%	35.5%	22.4%	9.5%	48.2%	31.9%
保護者	16	芦間高校は、国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせようとしている。	1年	14.6%	36.2%	10.6%	2.5%	50.8%	13.1%
			2年	11.8%	39.1%	10.6%	3.1%	50.9%	13.7%
			3年	19.2%	29.5%	10.9%	3.1%	48.7%	14.0%
			全体	15.2%	35.1%	10.7%	2.9%	50.3%	13.6%
教員	17	芦間高校は、国際理解、福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。	人数	15	25	14	3	40	17
			百分率	25.0%	41.7%	23.3%	5.0%	66.7%	28.3%

芦間高校では、毎年3月にオーストラリアへの語学研修に約20名が参加、海外修学旅行も実施している。また、11月に近隣の幼稚園、子ども園と合同で防災訓練を実施したり、文化祭等で支援学校との連携も行っている。にもかかわらず肯定率が高くないのは、それらの活動を、国際理解や福祉ボランティアとしてとらえていないのかもしれない。また、今年度については、日程調整がつかなかった関係で海外の高校生の本校への訪問がなかったことも影響していると思われる。意義について説明した上で取り組ませるようにしたい。

生徒	21	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	11.3%	42.6%	27.8%	13.0%	53.9%	40.9%
			2年	21.8%	29.6%	28.2%	12.0%	51.4%	40.3%
			3年	14.4%	40.0%	25.1%	13.5%	54.4%	38.6%
			全体	15.7%	37.5%	27.1%	12.9%	53.3%	39.9%
保護者	22	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	1年	12.6%	41.2%	17.1%	15.1%	53.8%	32.2%
			2年	7.5%	32.9%	28.6%	11.8%	40.4%	40.4%
			3年	20.2%	43.0%	15.0%	8.8%	63.2%	23.8%
			全体	13.8%	39.4%	19.7%	12.0%	53.1%	31.7%
教員	24	学習環境の面で、芦間高校の施設・設備は、ほぼ満足できる。	人数	5	24	17	13	29	30
			百分率	8.2%	39.3%	27.9%	21.3%	47.5%	49.2%

普通科の高校と比較して設備は充実しているが、創立17年目を迎え、前身の守口北高校から使用している校舎や芦間高校創立当初に導入したコンピュータの老朽化は否めない。この設問については、授業への影響も実際に発生していることから、生徒よりも教員の否定率が高く、半数近くは課題と考えている。早急に予算措置が望まれている。

生徒	22	芦間高校のホームページは自分にとって必要な情報が得られるようになっている。	1年	9.6%	36.1%	18.3%	11.7%	45.7%	30.0%
			2年	22.7%	23.1%	22.2%	10.2%	45.8%	32.4%
			3年	8.3%	27.6%	26.3%	16.1%	35.9%	42.4%
			全体	13.4%	29.1%	22.2%	12.7%	42.5%	34.8%
保護者	23	芦間高校のホームページは、保護者にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	1年	18.6%	46.7%	15.6%	3.0%	65.3%	18.6%
			2年	19.3%	46.0%	10.6%	5.0%	65.2%	15.5%
			3年	17.1%	39.9%	15.0%	5.7%	57.0%	20.7%
			全体	18.2%	44.2%	14.0%	4.5%	62.4%	18.4%
教員	25	芦間高校のホームページは、保護者や生徒にとって必要な情報が簡単に得られるようになっている。	人数	10	32	12	1	42	13
			百分率	16.4%	52.5%	19.7%	1.6%	68.9%	21.3%

ホームページの情報については生徒よりも保護者の皆様に活用していただいていることが多い。特に、トピックで学校行事の様子を見ていただいたり、修学旅行の状況を見ていただいていることが多いと思われる。また、今年度は台風の影響で休校もあり、ホームページやメールマガジンで情報を提供した。今後も、できるだけその時々に必要な情報をアップロードし、活用していただきたいと考えている。

生徒	23	芦間高校は、教育方針や経営方針を、生徒にわかりやすく伝えている。	1年	6.1%	39.6%	24.3%	11.7%	45.7%	36.1%
			2年	11.5%	30.0%	26.7%	11.1%	41.5%	37.8%
			3年	11.1%	37.3%	21.2%	14.7%	48.4%	35.9%
			全体	9.5%	35.7%	24.1%	12.5%	45.2%	36.6%
保護者	24	芦間高校は、教育方針や経営方針をわかりやすく伝えている。	1年	14.6%	48.2%	13.1%	5.5%	62.8%	18.6%
			2年	13.0%	42.2%	14.9%	2.5%	55.3%	17.4%
			3年	15.0%	42.5%	13.5%	4.1%	57.5%	17.6%
			全体	14.3%	44.7%	13.6%	4.3%	59.0%	17.9%
教員	26	芦間高校は、教育方針や経営方針を生徒や保護者にわかりやすく伝えている。	人数	9	26	15	4	35	19
保護者	15	芦間高校は、教育情報について、積極的に提供する努力をしている。	百分率	14.8%	42.6%	24.6%	6.6%	57.4%	31.1%
			1年	14.1%	47.2%	12.6%	3.0%	61.3%	15.6%
			2年	12.4%	41.6%	14.3%	4.3%	54.0%	18.6%
			3年	15.5%	38.9%	10.4%	4.1%	54.4%	14.5%
全体	14.1%	42.6%	12.5%	3.9%	56.7%	16.5%			

生徒の否定率が高いのは、特に学校の教育方針や経営方針に興味を感じていないからかもしれない。保護者の皆さまも決して肯定率は高くは無いが否定率も高くは無く、「よくわからない」という方が多い。やはり、様々な機会をとらえてわかりやすく伝えていく必要がある。

保護者	18	子どもは、家で学校の友達の話をよくする。	1年	42.7%	35.7%	12.6%	8.0%	78.4%	20.6%
			2年	31.7%	36.6%	19.3%	8.1%	68.3%	27.3%
			3年	35.2%	34.7%	19.7%	5.7%	69.9%	25.4%
			全体	37.2%	35.4%	16.8%	7.3%	72.6%	24.2%
教員	30	生徒は、学校に友達がいると言っている。	人数	19	34	2	1	53	3
			百分率	31.1%	55.7%	3.3%	1.6%	91.8%	4.9%

家庭で学校の話をしていない生徒が多くなっていると言われているが、本校生については、比較的話をしているようである。入学時からピアサポート等による仲間づくりに取り組んでおり、その影響もあると思われる。ただ、否定的な回答も少なくなく、特に級生に否定的な意見が多い。入学時のみではなく、継続的に取り組んでいく必要がある。

保護者	17	芦間高校は、自分の生き方を考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている。	1年	17.6%	46.2%	10.1%	2.0%	63.8%	12.1%
			2年	13.7%	47.2%	11.2%	2.5%	60.9%	13.7%
			3年	25.4%	36.8%	9.3%	5.7%	62.2%	15.0%
			全体	19.0%	43.3%	10.2%	3.4%	62.3%	13.6%

否定率が低く、「わからない」という回答が一定数あることを考えると、学校の指導方針がある程度理解されているのではないかとと思われる。

生徒	24	先生は、責任を持って、授業やその他の仕事に当たっている。	1年	23.0%	37.0%	15.2%	8.7%	60.0%	23.9%
			2年	22.6%	33.6%	17.5%	7.8%	56.2%	25.3%
			3年	18.9%	47.0%	15.2%	6.5%	65.9%	21.7%
			全体	21.5%	39.2%	16.0%	7.7%	60.7%	23.6%

前問と比較して肯定的な意見はあまり差は無いが、否定的な意見が多いのは、「授業のわかりやすさ」への肯定的な意見が少なかったことも関連しているのではないかとと思われる。学校の業務としては授業が最も重要であることを考えると、その点の改善が第一と考える。

保護者	19	芦間高校の学校行事や公開授業に参加したことがある。	1年	42.2%	31.7%	9.0%	16.6%	73.9%	25.6%
			2年	42.2%	34.2%	6.2%	16.1%	76.4%	22.4%
			3年	46.1%	29.0%	8.3%	15.0%	75.1%	23.3%
			全体	43.5%	31.3%	8.1%	16.1%	74.8%	24.2%

多くの皆様に参加いただいている一方、まったく参加いただけていない方も少なくない。公開授業（授業参観）については土曜日に開催し、参加していただきやすくなるよう努めてはいるが、その情報が伝わっていないということもよくうかがっている。せっかくの機会なので多くの皆様に授業を見学していただきたいので、開催の情報を確実に伝える努力をしていく必要がある。

教員	27	教育活動について、教職員で日常的に話し合っている。	人数	16	30	10	3	46	13
			百分率	26.2%	49.2%	16.4%	4.9%	75.4%	21.3%
	28	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしている。	人数	10	30	8	4	40	12
			百分率	16.4%	49.2%	13.1%	6.6%	65.6%	19.7%
	29	芦間高校は、カウンセリングマインドを取り入れた生徒(生活)指導を行っている。	人数	14	32	7	2	46	9
			百分率	23.0%	52.5%	11.5%	3.3%	75.4%	14.8%

職員室では数値以上に、頻繁に生徒や教科について語られているように思える。特に生徒に関しては熱心に情報の共有に努めており、共通認識が形成されて、クラス運営等にも活かされているようである。また、指導においても頭ごなしに指導せず、生徒個々の様子を見ながら、その生徒に適した指導を行っている。

	教務	番号	設問	平成30年度					肯定的	否定的
				学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない		
生徒	3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、自分の理解度に合っていて、内容がよくわかるようになった。	1年	20.4%	43.5%	20.0%	10.0%	63.9%	30.0%	
			2年	19.8%	44.7%	21.2%	4.6%	64.5%	25.8%	
			3年	13.8%	47.5%	24.0%	6.5%	61.3%	30.4%	
			全体	18.1%	45.2%	21.7%	7.1%	63.3%	28.8%	
保護者	3	習熟度別による少人数展開の授業は、考査後新しいクラス分けがあることなどの効果で、子どもの学習意欲はより高まったようである。	1年	12.1%	41.7%	26.6%	7.5%	53.8%	34.2%	
			2年	14.9%	35.4%	26.7%	8.1%	50.3%	34.8%	
			3年	16.6%	41.5%	18.7%	5.2%	58.0%	23.8%	
			全体	14.5%	39.9%	23.6%	7.0%	54.4%	30.6%	
教員	3	習熟度別による少人数展開の授業(1年英語数学等)は、生徒の理解度に合っていて、内容がよく理解でき	人数	21	28	3	0	49	3	
			百分率	34.4%	45.9%	4.9%	0.0%	80.3%	4.9%	

肯定率は1年生で増加したが3年生で減少した。3学年を比べてみると大差がないので、習熟度別による少人数展開の授業が学校全体で定着し、それぞれの立場で評価されているように思える。今後も継続していきたい取組みのひとつである。

生徒	5	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価を受けている。	1年	25.2%	42.6%	13.5%	3.5%	67.8%	17.0%
			2年	30.0%	34.1%	19.4%	0.9%	64.1%	20.3%
			3年	31.3%	42.4%	14.7%	4.6%	73.7%	19.4%
			全体	28.8%	39.8%	15.8%	3.0%	68.5%	18.8%
教員	6	成績については、テストの得点だけでなく、提出物など様々な面からの評価をしている。	人数	39	19	2	0	58	2
			百分率	63.9%	31.1%	3.3%	0.0%	95.1%	3.3%

今年度から新たに加えた設問である。テストの点の評価だけでなく、授業中の取組みや課題等も評価していることは、日頃から伝えてはいるが、この値では十分認知されているとは言い難い。生徒も提出物などの重要性は理解していると思われるが、多面的な評価についてさらに丁寧な説明が必要であろう。

生徒	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われている。	1年	30.9%	40.9%	14.3%	5.2%	71.7%	19.6%
			2年	20.8%	33.3%	23.6%	13.0%	54.2%	36.6%
			3年	9.7%	35.9%	27.2%	21.7%	45.6%	48.8%
			全体	20.7%	36.8%	21.6%	13.1%	57.5%	34.7%
保護者	8	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行われているようである。	1年	18.6%	44.7%	14.1%	8.5%	63.3%	22.6%
			2年	13.0%	41.0%	18.6%	9.3%	54.0%	28.0%
			3年	17.6%	40.9%	14.5%	6.7%	58.5%	21.2%
			全体	16.5%	42.2%	15.7%	8.2%	58.7%	24.0%
教員	9	科目選択の指導は、きめ細かく適切に行っている。	人数	17	32	4	3	49	7
			百分率	27.9%	52.5%	6.6%	4.9%	80.3%	11.5%

1・2年生で昨年より肯定率が上がり、3年生で下がった。2・3年生は否定的な意見が相当数あり、本人の望むような選択になっていない可能性がある。芦間高校の選択指導は、進路決定に必要な科目を第一に考えているが、生徒の希望はそうではない場合が多いようである。生徒とよく話し合って納得できるような選択になるように努めたい。

生徒	9	芦間高校は選択科目が多く、自分の進路や興味に合わせて選べるところが魅力である。	1年	43.0%	38.7%	9.6%	4.3%	81.7%	13.9%
			2年	33.3%	37.5%	18.1%	6.9%	70.8%	25.0%
			3年	43.3%	33.2%	12.4%	7.4%	76.5%	19.8%
			全体	40.0%	36.5%	13.3%	6.2%	76.5%	19.5%
保護者	9	芦間高校は、選択科目が多く、それらを自分の進路や興味に合わせて選べるところが魅力である。	1年	40.2%	43.7%	10.1%	2.5%	83.9%	12.6%
			2年	34.8%	42.2%	8.7%	5.6%	77.0%	14.3%
			3年	50.8%	34.7%	7.3%	3.1%	85.5%	10.4%
			全体	42.6%	39.9%	8.6%	3.6%	82.5%	12.2%
教員	10	芦間高校は、選択科目が多く自分の進路や興味に合わせて選べるところが、魅力である。	人数	20	30	6	3	50	9
			百分率	32.8%	49.2%	9.8%	4.9%	82.0%	14.8%

生徒、保護者ともに高い肯定率となっているが、総合学科芦間高校の最大のセールスポイントであるのもっと高くてもいいのではないかとと思われる。そうならないのは、前問のように満足できる選択とはなっていないことが原因かもしれない。魅力ある学校にするために、もっと高くなるよう、生徒が満足できるような選択となるように改善していきたい。

	生徒指導	番号	設問	平成30年度					
				学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的
生徒	11	芦間高校の生徒指導の方針は、理解できる。	1年	19.6%	32.6%	22.2%	12.6%	52.2%	34.8%
			2年	12.0%	31.9%	28.2%	13.9%	44.0%	42.1%
			3年	11.5%	39.6%	24.0%	15.2%	51.2%	39.2%
			全体	14.5%	34.7%	24.7%	13.9%	49.2%	38.6%
保護者	13	芦間高校の生徒指導の方針は理解できる。	1年	24.1%	43.7%	9.0%	4.0%	67.8%	13.1%
			2年	17.4%	32.9%	13.7%	5.6%	50.3%	19.3%
			3年	24.9%	40.4%	7.3%	4.7%	65.3%	11.9%
			全体	22.4%	39.5%	9.7%	4.8%	61.9%	14.5%
教員	12	芦間高校の生徒指導の方針は、生徒や保護者に理解されている。	人数	6	36	9	4	42	13
			百分率	9.8%	59.0%	14.8%	6.6%	68.9%	21.3%

生徒の肯定率は数値だけを見ると高いとは言えないが、生徒指導という性質上やむを得ないと考える。また、現在の生徒指導方針は落ち着いた学習環境を構築する上で最低限の方針だと考える。ただ、生徒も変化して否定率が増加しているので、頭ごなしの指導ではなく指導の必要性をしっかりと説明し理解させることがこれまで以上に肝要である。

保護者の方の肯定率はこの程度で問題ないとする。

生徒・保護者ともに昨年度より肯定率が低下しているので、より細かい説明が必要である。

生徒	12	命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会や豊かな心や人の生き方について考える機会がある。	1年	23.9%	40.9%	20.0%	3.9%	64.8%	23.9%
			2年	15.7%	40.1%	22.6%	7.8%	55.8%	30.4%
			3年	15.2%	45.2%	19.8%	8.3%	60.4%	28.1%
			全体	18.4%	42.0%	20.8%	6.6%	60.4%	27.4%
教員	13	芦間高校は、生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。	人数	15	35	7	1	50	8
			百分率	24.6%	57.4%	11.5%	1.6%	82.0%	13.1%

否定率が27%と大変高い。命の大切さについてはしっかりと学んでいるし問題事象も発生していない。しかし、社会のルールについて周辺住民や店舗からのクレームも多い。もう高校生なのだから、学校外の生活についての躰は家庭や小中学校での指導で身に付いているという既成概念にとらわれることなく、基本から学ばせる必要がある。

教員	20	芦間高校は、学校行事が生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	人数	17	40	3	0	57	3
			百分率	27.9%	65.6%	4.9%	0.0%	93.4%	4.9%
生徒	18	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	1年	70.9%	22.2%	3.0%	1.7%	93.0%	4.8%
			2年	50.2%	32.6%	10.2%	1.4%	82.8%	11.6%
			3年	53.7%	34.7%	6.0%	2.3%	88.4%	8.3%
			全体	58.5%	29.7%	6.4%	1.8%	88.2%	8.2%
保護者	20	芦間高校生は文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加しているようである。	1年	61.8%	31.2%	3.5%	1.0%	93.0%	4.5%
			2年	54.0%	33.5%	6.2%	0.6%	87.6%	6.8%
			3年	63.2%	28.0%	3.1%	1.6%	91.2%	4.7%
			全体	60.5%	30.4%	4.1%	1.1%	90.9%	5.2%
教員	21	芦間高校生は、文化祭・体育祭などの学校行事に積極的に参加している。	人数	34	26	1	0	60	1
			百分率	55.7%	42.6%	1.6%	0.0%	98.4%	1.6%

生徒、保護者ともに90%近い肯定率を得ており、今後ともこの水準を維持したい。

生徒	19	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	1年	27.8%	30.4%	15.7%	7.4%	58.3%	23.0%
			2年	14.7%	35.5%	25.8%	8.8%	50.2%	34.6%
			3年	17.5%	35.9%	19.8%	14.3%	53.5%	34.1%
			全体	20.2%	33.9%	20.3%	10.1%	54.1%	30.4%
保護者	21	芦間高校生は生徒会活動に関心を持って積極的に参加しているようである。	1年	16.1%	30.7%	13.6%	5.5%	46.7%	19.1%
			2年	11.2%	34.2%	12.4%	5.6%	45.3%	18.0%
			3年	16.1%	32.1%	11.9%	6.7%	48.2%	18.7%
			全体	14.5%	32.2%	12.7%	6.1%	46.7%	18.8%
教員	22	芦間高校生は、生徒会活動に関心を持って積極的に参加している。	人数	12	33	9	5	45	14
			百分率	19.7%	54.1%	14.8%	8.2%	73.8%	23.0%

肯定率は6割に達していないが、生徒総会の様子など見ていると積極的に参加している生徒は多いと思われる。ただ、否定的評価も3割程度いるので、まだ身近なものになっていないかもしれない。今後も継続して生徒会活動について生徒の代表である生徒会執行部から発信していく必要があると考える。

生徒	20	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	1年	29.3%	34.9%	16.6%	7.0%	64.2%	23.6%
			2年	21.4%	39.1%	25.1%	3.3%	60.5%	28.4%
			3年	20.7%	43.3%	18.9%	9.7%	64.1%	28.6%
			全体	23.9%	39.0%	20.1%	6.7%	62.9%	26.8%
教員	23	芦間高校生は、部活動に積極的に参加している。	人数	10	34	14	2	44	16
			百分率	16.4%	55.7%	23.0%	3.3%	72.1%	26.2%

生徒の部活動加入率から考えると肯定率 63%は低いように感じる。否定率の増加につれてアルバイトの許可申請が増加しており、その理由はほとんどが進学準備のためである。奨学金の問題がクローズアップされてから進学の金銭面に対する不安が増大している。学習面も生活面も悪影響があるので、保護者の理解を得たい。

進路指導			平成30年度						
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的	否定的
生徒	6	芦間高校は進路について考える機会が多い。	1年	76.5%	20.9%	0.9%	0.0%	97.4%	0.9%
			2年	43.1%	39.8%	11.1%	1.9%	82.9%	13.0%
			3年	44.2%	34.6%	11.5%	4.6%	78.8%	16.1%
			全体	55.1%	31.5%	7.7%	2.1%	86.6%	9.8%
保護者	6	芦間高校は進路について考える機会が多く設定されているようである。	1年	47.2%	40.2%	5.5%	0.5%	87.4%	6.0%
			2年	23.0%	47.2%	16.1%	2.5%	70.2%	18.6%
			3年	26.4%	45.1%	11.9%	3.6%	71.5%	15.5%
			全体	32.9%	44.2%	10.7%	2.1%	77.1%	12.9%
教員	8	生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている。	人数	14	37	6	1	51	7
			百分率	23.0%	60.7%	9.8%	1.6%	83.6%	11.5%

生徒は80%以上、特に1年生は97% 保護者も70から87%と当てはまるが高い数値になっている。

1年 2年については、今年度進路HRを設定したのが効果的であった。引き続き、来年度も適当な時期に進路H.Rを計画していきたい。

3年生で若干数値が低くなっているのは、学校でそういった機会を設定してもらうのでは無く、自ら考える機会が増えた現れである。

生徒	10	奨学金制度についての情報は、十分に知らされている。	1年	7.8%	32.2%	27.0%	11.7%	40.0%	38.7%
			2年	21.7%	29.0%	28.6%	8.8%	50.7%	37.3%
			3年	19.4%	47.7%	14.8%	6.5%	67.1%	21.3%
			全体	16.1%	36.2%	23.5%	9.0%	52.3%	32.6%

奨学金については、情報を流すのは非常に難しい部分ではあるが、2年生では50%と前年度の35%から大幅に増えている。他の学年についてはほぼ横ばいである。

3年生は、支援機構についてが主な内容になるのであるが、これは内容も非常に難しく、学校からの説明についても限界があるので、各家庭で冊子等を十分に読んでいただく必要性を訴えていきたい。

1年生は、奨学金についてどこまで伝えるかは難しいところである。

奨学金について、成績が必要なことを伝えるのは重要であるが、学費については、各家庭で用意していただく必要のあることを伝えることを優先するべきと考える。

人権教育推進委員会			平成30年度						
	番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的	否定的
生徒	17	人権について学ぶ機会がある。	1年	33.5%	40.9%	13.5%	1.7%	74.3%	15.2%
			2年	19.9%	47.7%	15.3%	5.1%	67.6%	20.4%
			3年	32.3%	43.8%	12.4%	3.2%	76.0%	15.7%
			全体	28.7%	44.0%	13.7%	3.3%	72.7%	17.0%
保護者	25	先生は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっているようである。	1年	18.1%	44.2%	13.6%	3.5%	62.3%	17.1%
			2年	14.9%	43.5%	14.9%	2.5%	58.4%	17.4%
			3年	20.7%	41.5%	12.4%	5.2%	62.2%	17.6%
			全体	17.9%	43.1%	13.6%	3.9%	61.0%	17.5%
教員	18	芦間高校は、子どもに人権を尊重する意識を育てようとしている。	人数	16	33	6	4	49	10
			百分率	26.2%	54.1%	9.8%	6.6%	80.3%	16.4%
教員	19	芦間高校の教職員は、すべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。	人数	14	34	7	2	48	9
			百分率	23.0%	55.7%	11.5%	3.3%	78.7%	14.8%

芦間高校では、① 各学年に沿ったテーマで取り組む人権HR。② 全校単位で行う人権講演。 の2つを人権教育の取組の柱として、幅広いテーマで人権について学ぶ機会を設けている。

生徒については肯定的な回答は73%で昨年同様70%を超えている。特に3年生では76%と最も高く、3年間でいろんな人権に関する事柄を学んできた事の一定の成果と考えられる。ただし否定的な回答が17%、また「よく分からない」という回答が10%ある事に留意して、引き続き、差別を許さず、他人とのコミュニケーションを大切に、相手の立場に立って、人を思いやることを育む教育を推進していきたい。

保護者については肯定的な回答が61%で昨年の66%より少し減った結果であった。特徴的なのは昨年同様「よくわからない」という回答が21%あり、今後さらに、PTAの諸会議や学年懇談会などの場で、人権に関する学校の取組をもっと知っていただくための活動を充実させていく必要がある。

産社・総学調整委員会		平成30年度						
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的	否定的
生徒	7 「産業社会と人間」や「総合学習」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになった。	1年	40.4%	35.7%	14.8%	5.2%	76.1%	20.0%
		2年	32.4%	38.0%	19.4%	5.6%	70.4%	25.0%
		3年	24.9%	41.5%	19.8%	7.8%	66.4%	27.6%
		全体	32.7%	38.3%	17.9%	6.2%	71.0%	24.1%
保護者	7 「産業社会と人間」の授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになったようである。	1年	19.6%	37.2%	18.1%	6.0%	56.8%	24.1%
		2年	9.3%	34.8%	23.0%	8.1%	44.1%	31.1%
		3年	17.6%	29.5%	22.3%	5.7%	47.2%	28.0%
		全体	15.7%	34.0%	21.1%	6.4%	49.7%	27.5%
教員	7 生徒は、「産業社会と人間」などの授業を通して、自分の適性や将来についてよく考えるようになっている。	人数	23	25	5	3	48	8
		百分率	37.7%	41.0%	8.2%	4.9%	78.7%	13.1%

1年生は週2時間の「産業社会と人間」で『ジョブカバリー』や『未来のミカタ』に取り組んでいるため、肯定的な意見が多い。また、2年生も「総合的な学習の時間」に『総学論文』に取り組んでいるため同様である。3年生は『進路達成講座』を行っているが、将来について考えるようになった結果として進路別の講座を受講しているので「よく考えるようになった」ということばは適切ではないかもしれない。

保護者について肯定的意見が少ないのはこれらの取組みが認知されていないことが原因と思われる。それぞれの発表を見学していただく機会を設けるなどの新たな取組みが必要かもしれない。

いじめ防止及び対策委員会		平成30年度						
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的	否定的
生徒	15 先生は、いじめについて私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	1年	22.6%	21.3%	12.6%	5.2%	43.9%	17.8%
		2年	19.8%	24.4%	15.2%	5.1%	44.2%	20.3%
		3年	19.8%	35.5%	12.9%	5.1%	55.3%	18.0%
		全体	20.8%	27.0%	13.6%	5.1%	47.7%	18.7%
保護者	12 学校は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる	1年	9.0%	20.6%	9.5%	3.0%	29.6%	12.6%
		2年	11.2%	19.3%	9.3%	3.1%	30.4%	12.4%
		3年	14.0%	21.2%	9.3%	4.1%	35.2%	13.5%
		全体	11.3%	20.6%	9.3%	3.6%	31.8%	12.9%
教員	16 芦間高校では、いじめ(疑いを含む)が起こった際の体制が整っており、迅速に対応することができる。	人数	20	29	6	1	49	7
		百分率	33.9%	49.2%	10.2%	1.7%	83.1%	11.9%

肯定率は高くは無いが否定的な意見も少ない。「わからない」が多いのはいじめに直面することがあまりないからであるとも考えることもできる。しかしながら、まったく起こっていないわけではなく、日頃の指導により、生徒の意識を高め、未然に防ぐことで、否定的な意見を0に近づける努力が必要である。

教育相談担当		平成30年度						
番号	設問	学年	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない	肯定的	否定的
生徒	13 担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談することができることを知っている。	1年	31.3%	30.9%	17.8%	10.0%	62.2%	27.8%
		2年	28.1%	35.0%	18.9%	7.8%	63.1%	26.7%
		3年	33.2%	37.3%	13.8%	5.5%	70.5%	19.4%
		全体	30.9%	34.3%	16.9%	7.8%	65.2%	24.7%
保護者	14 担任の先生以外にも、保健室や相談室等で、気軽に相談できることを知っている。	1年	19.6%	22.1%	18.6%	6.0%	41.7%	24.6%
		2年	18.6%	29.8%	12.4%	6.8%	48.4%	19.3%
		3年	26.9%	35.2%	7.3%	6.2%	62.2%	13.5%
		全体	21.8%	28.8%	13.1%	6.4%	50.6%	19.5%
教員	14 芦間高校は教育相談体制が整備されており、生徒は学級担任以外の教職員にも相談することができる。	人数	22	32	5	1	54	6
		百分率	36.1%	52.5%	8.2%	1.6%	88.5%	9.8%

芦間高校の中に、相談室や保健室という「相談できる場所」があることを「知っている」とする生徒が、29年

度は62%で、30年度は65%と増加している。

学年別には、1年(44→62%) 2年(65→63%) 3年(78→71%)。

1年生が大きく増えている。2年の「微減」は問題視しない。3年に関しては、昨年よりも「学校行事や受験に関するストレス」などが多少軽かったのか、と想像する。全体としての「生徒の認知率」は上がっていて、成果は上がっていると考ええる。

2、3年の「認知率」の数値は下がっているが、「相談室」の利用は、むしろふえている。「昼休みに教室にいけない生徒」が「昼食をとる場所」として日常よく使用しているほかに、相談室での「軽い相談」を希望するケースも多い。相談室では解決できない事案は、スクール・カウンセラーにつないでケアを続けている。「相談できる場所」の認知度をあげるために、「教育相談ニュース」の発行とともに、SHRなどを使った「担任からの紹介」を複数回おこなっていきたい。「日常の紹介」が有効だと考えるからである。

相談室や保健室という「相談できる場所」があることを「知っている」とする保護者は、29年度は55%で、30年度は51%。生徒の認知率が上がっているのに反してすこし減少している。

入学式を含め何度かプロパガンダを行ってはいるが、それを「わからない」という方は、その時点で「さしあたっての必要性」を感じておられない保護者が、昨年に比べて少し多かったということかと想像する。ただ、生徒の場合と同じく、「相談室を使つての相談」を行った方は、昨年よりもふえていて、その面では、成果を上げていると考えている。